

# なな

8月号  
vol. 090

特集：都市のインフラ

子どもが育つとき

2

**特集シリーズ、第2弾。**今回は、地域で子育て・子育てを応援する、地域福祉を中心にレポートしました。今回は、お店やイベント、遊びを通じて子どもたちと関わる人と対談しました。子育て、子育てというと、いわゆる子育て支援の現場で働く人たちがど真ん中とイメージされがちですが、お店で駄菓子を売る人も、劇で楽しませる人も、近所であいさつを交わす人も、イベントで子どもと一緒に盛り上げる人も、「育つとき」の重要なメンバー。そんな、実は身近で、子育て支援の文脈ではあまり触れられていない、子どもたちのもう一つの現場を、わいわいと語り合いました。

## 親が知らない楽しさを子どもにどう伝えるか

**久保**…私は、二十歳ぐらいのときに、折り紙や塗り絵などの絵本をつくるデザイン事務所でのアシスタントしたり、デパートで駄菓子さんコーナーをつくったり、そんな子どもたちに楽しんでもらう仕事をすることをきっかけに、今でもドーナツ屋をやりながら子どもたちの楽しいを引き出すようなことを考えています。地域のイベント「どっぶり昭和町」で、昭和の遊び広場を企画しているのもその一つ。昭和のころの子どもたちのように、いろんな体験で創造的な遊びを、今の子どもたちにも味わってほしいと思っています。でも、駄菓子や人形劇など、子どもたちが夢を膨らませるようなアナログな遊びを知らない若い世代が増えたと感じます。**藤田**…人形劇団を20年以上続けていますが、だいぶ変化しました。大阪では、ひと昔前は、例えば小学校の多くが毎年のように観劇をしていたのが、今は減っている。また、東京の劇団が、関西や他の地域にも来るのが当たり前のようになってきました。その結果、地元劇団として、名前が受け継がれなくなっている。口づてで伝わらなくなっています。**ガンチャン**…僕も、学校で人形劇を見た記憶があるけど、そこがどこかはわからない。小学校6年の間で、1、2回くらいしか来ていなかったかも。**藤田**…そう、毎年のように何度も見ていくなか

## 「違い」に出会う

**藤田**…結局、僕らって「ヘンなオッチャン」じゃないですか。たとえば公園で、僕が人形を持ち出して、ガンチャンが鳴り物を鳴らし始めたら、子どもって寄ってくるじゃないですか。それで、一つの場ができていた。でも、今はヘンというだけで、大人に行ったらあかんと言われる。よそ者を遠ざける傾向があると思います。**久保**…安全、安心と言いつつ、子どもを大事にしすぎるあまり、世の中のヘンに対するよそ者扱いが強くなっているね。**藤田**…ヘンな場に出くわして、ヘンな人と会って、ヘンな目に合う、というのがいい意味での思い出にもなる。そんなことを忘れてしまっている気がします。**ガンチャン**…いろんなヘンな体験が許容力にもなるし。**工藤**…あと、子どもってダメなことをするのが、楽しかったりするよね。**久保**…ダメを押し付けて安全な環境を守り固めるだけじゃなくて、ヘンに触れながら世界の広さを感じてもらえたらと思う。そのためにも、ヘンなオッチャンも地域で信用してもらわなければならない。**藤田**…地元で積み上げていくことは必要なのか。地域と一緒に自分たちが楽しむためにやっている姿を見られながら、再び信頼してもらおう地道な作業が求められている気がする。でも、例えば学校との関係では、話を通じ

## 見守り育てる大人たち

対談場所  
協力：fudan 大阪市東住吉区山坂2-10-3  
<http://www.fudan-fudan.com/>



**藤田 光平**

今年で設立66年を迎える人形劇団クラルテの舞台に20年以上関わるベテラン。地元住之江をはじめ、各地で児童劇を公演して回る。最近、家で稽古をしながら象のまねでパオーンと奇声を発しても、子どもは平気だとか。そんなヘンなオッチャンを素で演じ楽しみながら子どもたちと接する。



**明神 久**

西成区で生まれ育ち、今は学童で働きながら、地域と子どもたちをつなげる取り組みにアクティブに関わる。最近、子どもたちのまちづくりを応援するNPO法人cobonさんで、子どもたちと一緒に仕事を考え、まちづくりを行う企画を進行中。



**久保 晶**

ドーナツ屋「あたりきしゃりき堂」の店主。子どもも大人も気軽に立ち寄れるお店として、ちょこんとお茶もでき、駄菓子もあり！中之島まつりをはじめ、どっぶり昭和町や、その他いろんな地域イベントに関わりながら、子どもたちの体験を創造するみんなのお父さんの存在。



**ガンチャン**

紙芝居屋のガンチャン。西成区在住。バイクで公園に街頭にイベントにと、大人も子どもと一緒に楽しめる紙芝居をいろんなまちに運ぶ。最近、インターナショナルに、言葉の壁をこえて紙芝居を広げるプロジェクトも立ち上げ邁進。



**工藤 正和**

西成区で生まれ育ち、仕事をしながら、地域の子どもの健全育成と非行防止を推進する活動を担う青少年指導員をこなす若手。固そうなひびきの青少年指導員も、得意のけん玉でフレッシュに吹きとばしながら、地域の子どもの場所づくり日々奔走。



特集：都市のインフラ

子どもが育つとき

2



### 場所と役割と子どもたち

ようになってきた先生が、その次の年には異動になっていたり。なかなか、積み上げが難しい時代になっていると感じます。

**明神**…僕は、仕事の学童とか、いろんなイベントや活動などで、地域と関わりながら子どもたちを見ていて、場所と役割がキーワードだなと思うようになってきました。子どもたちが集まれる場所としては、施設や学校がある。でも、それだけでは、大きな枠にはまった動きしかできない。学校では学校の仕組みでしか動けない。でも、そこに馴染めない隠れた子どもたちがたくさんいます。

**久保**…気づいたら、地域で子どもたちを育てようというコミュニティがいつのまにかブツツと切れてしまっていた。今は「子ども会」も減ってきているしね。

**明神**…子ども会もだし、地域のお祭り、例えばだんじりのように、学校とは違うだけかと集まって何かをする場所があればと思う。その何かをする選択肢として、年代に応じた役割がポイントかな。

**工藤**…とくに中高生の地域の中での

場所と役割って少ないよね。

**藤田**…地元の団地には子ども会もあるけど、小学校6年生で終わってしまふ。確かに、中学校から大人になるまで、コミュニティの中の受け皿がない。この子たちはどこへ行ってしまうのだろうか？

**明神**…地域の中に受け皿がほとんどない高校生も、地域イベントに巻き込みながら手伝わってもらって思っただけ、高校生としての役割があれば、いつもの学校とは違う表情や行動が出てくるし、責任感も出てきます。

**藤田**…僕の故郷は愛媛県の農村だったので、秋祭りが盛んでした。暮らしの中には、そんな祭りが行事などの地域の層と、学校や社会の層との二つあって、学校で成績が悪くても、太鼓がうまいとか、踊りが得意など、地域にも活躍の場がたくさんあった。子ども会や青年団などの場所があったら、リーダーとしての役割もあって、とてもイキイキしていました。

**工藤**…子どもっていつも「やりたい」と思っている部分があるよね。いろんな場所で楽しかった体験をしたら、自然と他の子どもたちに伝えたい気持ちも出てくる。

**明神**…そう思ったときにできる場がないから、もったいない。子どもたち

が、地域のいろんな楽しい動きを手伝うというサイクルをつくれなにか、考えています。

**久保**…地域のコミュニティは、ときうつつとうしくて、めんどくさい側面もあるけど、役割も大きいね。

### 安全とダメの関係

**ガンちゃん**…みんなは、自分が子どものころはどういう場所がありました？

**明神**…僕は、児童館に行っていました。自分の子どものころは、まだ遊ぶ場所を選べた。でも今は、公園でも規制が多いし、校区を越えられないし、学校でもあればダメ、これはダメと、いろんな縛りがある。

**工藤**…子どもがもつと自由に意見することもなく、指示の受け身になっってしまう。施設とかで、安全が第一となった。いつころからだろう？

**ガンちゃん**…責任取りたくない大人たちが出てきて、そうだったのかな。子どもたちのけがや事故を問われるようになってきているから。

**工藤**…けがすると危ないというのを、守り固めて回避するのではなく、自分で身をもって知るといふ場所を地域でつくらないと、思いやりや積極

うまいこと地域での役割を兼ねながら、受け入れる場所として機能しているよね。中高生が、周りに必要とされているんだ、という気持ちを持つことが大切。

**明神**…親でも先生でもない、第三者に認めてくれる人がいるということが強みだね。そんな関係が、ふらっと寄り道できる場所につながってくる。

**工藤**…ちよつとぐちを言うとか、ちよつと悩みを口にするとか。

**藤田**…私の地域の住之江区は埋め立て地で、そこまで歴史も地縁も強くない。結局、地域に居場所がないから、中学生は部活に入らないとダメ。でも、そこからはじき出されたら行き場がない。口には出せないけど、一番さみしい思いをしているのは、子どもたちかもしれない。劇団では、子どもたちに「いつ来てもいいよ」と言える場になりたいね、といつも話しています。

**工藤**…地元で劇団とかあるのも、強みになりそう。

**藤田**…住之江区だけでなく、西成区や、東住吉区、住吉区など、劇団が多くて、数は減らしてきているけど、大阪の南に集まっているのは活かせそう。

**久保**…それぞれの地域で、それぞれの特徴を活かして、大人も子どもも

性など成長できない側面って多いと思うのだけだ。

**明神**…それから、子どもって大人をよく見ていると思う。ダメとばかり言っている大人からはほとんど離れていくよね。安全のためにいろんな関係から遠ざけられていては、受け身にならざるを得ない。

**工藤**…頭ごなしのダメではなく、いろんな関係の中で、怒ってくれたり、遊んでくれたり、その両方ができる大人かどうか、子どもはちゃんと試していると思う。

### 地域の中のヒント

**工藤**…たいいての区では、連合町会などが子ども会を実施しているみたいだけど、西成区では子ども会が行うような活動や行事を「青少年指導員」で取り組む地区が多いです。また、中学生や高校生が、小学生のめんどうを見る団体として「ジュニアリーダー」があるところは、中学生になったときにも継続してつながっていけるのもメリットです。

**明神**…ふつうの青少年指導員は年配の方が多くから、西成のはすごくフレッシュな感じがある。

**工藤**…関わりやすさも大事。中高でスコツと抜けてしまいがちな部分を、

一緒にまずはしゃべれる場所や、何かにチャレンジしていける機会をつくることかな。

**工藤**…地域が子どもを一方的に守り過ぎていんじゃないかと、いろんな相手とつながっていける場所をつくられたらね。

### おわりに

盛りだくさんに楽しく、いい意味でヘンなメンバーで話した2時間半。地域で子どもたちと一緒に楽しむことの難しさとヒントが出てきた対談になりました。そんな中、ヘンとは、変であり、辺でもあり、編でもあるのではと、ふと感じました。ただの変わり者ではなく、中心というよりちよつと周辺にひよつこりと、それでいていろんなことを編み出す。ヘンな人が、地域も子どもも育てる引き立て役として活躍しているのではと。そんな違いを楽しみまちへのヒントを垣間見ながら、次回、子どもたちの視点に目を向けたいと思います。

(記録：平川)

【平川隆啓】先日、非常勤で講義していた「実践地域学」が終了。フィールドワークでまちへ出たり、グループワークで地域課題について議論してみたり。「なび」の制作も、授業にならんかなー。



大阪の南、西成とその周辺の味わい深いまちの魅力を掘り下げつつ、地図を重ねていく「サウスオブミナミ」。雑多なカルチャーの集積地サウスオブミナミの深層にちょっと触れながら地図を描いていきます。

# サウスオブミナミ

vol.15

## いろいろな場面に登場、西成ロケ地めぐり

今回は、ロケ地特集。最近だと、西成区にある西成公園が、まだまだ上映中の映画「円卓 こっこ、ひと夏のイマジン」のロケ地に。他にも、いろんな映画やドラマに登場します。スクリーンや、ブラウン管じゃなくて液晶に映し出される西成のまち。監督、脚本家、出演者、見る人、他にもいろんな人の手をかけてつくられる映像には、いろんな物語が行き交います。そんな場面に思いをはせながら、ロケ地となった場所を巡ってみました。

**9**  
働く姿が似合うまち  
ドラマ『てっぱん』(2010-2011)  
西成区北津守4丁目：ダイソー-木津川工場

**10**  
いつもの遊び場、昔段着の居場所  
映画『円卓 こっこ、ひと夏のイマジン』(2014)  
西成区津守1丁目：西成公園

**11**  
飛行機で大阪に入るときに見えた工場地帯  
映画『ブラック・レイン』(1989)  
西成区南津守2丁目：千本松大橋

**12**  
日常の風景、いつもの商店街  
ドラマ『ふたりっ子』(1996)  
西成区千本北2丁目：銀座商店街

**13**  
よく寄り道した近所の公園  
ドラマ『ふたりっ子』(1996)  
西成区千本北1丁目：千本北公園

**14**  
学校へと続く通学路の何気ないガード  
ドラマ『ふたりっ子』(1996)  
西成区潮路2丁目南海汐見橋線の地下道

**15**  
遊びも、ケンカも、勉強もした小学校  
ドラマ『ふたりっ子』(1996)  
西成区千本中1丁目：岸里小学校

**7**  
自転車で走り抜けた線路沿い  
ドラマ『浪速少年探偵団』(2012)  
西成区天神ノ森1丁目  
阪堺電車聖天坂駅東側

**8**  
仲直りしようとしていたいつもの駅  
映画『大阪ハムレット』(2008)  
西成区玉出東1丁目  
南海電鉄岸里玉出駅ホーム

**12**  
西天下茶屋駅

**13**  
14  
15

岸里駅

岸里玉出駅

南海本線

阪堺線

聖天坂駅

下陽の墓場

半沢直樹

今池駅

木津川

千本松大橋 (めがね橋)

ブラックレイン

**4**  
まちを望みながら歩き進む上り坂  
映画『野獣刑事』(1982)  
西成区山王3丁目

**1**  
庶民的な雰囲気、一人立ち呑み考えごと  
ドラマ『半沢直樹』(2013)  
西成区太子1丁目

**5**  
階段にのぼって、まちを見渡して  
ドラマ『ふたりっ子』(1996)  
西成区天下茶屋東1丁目：階段

**2**  
都市で暮らし働く人々  
映画『太陽の墓場』(1960)  
西成区萩之茶屋1丁目

**6**  
新たな出会いを、商店街で  
ドラマ『あなたの人生お運びします』(2003)  
西成区天下茶屋3丁目：天三商店街

**3**  
電車に乗って向かう先は…  
ドラマ『ふたりっ子』(1996)  
西成区萩之茶屋2丁目  
阪堺電軌阪堺線今池駅

# ナイスな仲間たち

「なび」をつくる(株)ナイスは、地域での取り組みも、社会に向けた取り組みもいろいろ。多様につながる実践を紹介していきます。

## VOL.05 ぐらん・じゅ in ビッグ・アイ



### 地域とつながるレストラン

4月に紹介した国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」にある CAFE&DINING『ぐらん・じゅ』では、地元「泉ヶ丘」を中心に創作活動する「NPO法人いづみ健老大学」のメンバーたちの、作品展示の場を提供しています。

7月は、水墨画メンバーの作品を展示し、レストランのお客様の目を楽しませました。普段はシックな壁面も、絵画や写真で華やかな空間に変わり、食事+αを楽しんでいただいています。徐々に作品発表の場として、地域のいろんな人たちが



にもロコミで広がってきています。

現在、「ぐらん・じゅ」は山岡支配人のもと、地元の商工会、ホテル協会、コンベンション協会などの協力で、地元の新商材を活用した「限定ビッグ・アイ弁当」や、「コーヒー+和菓子セット」、「アイスハーブティ」などの新メニューにも取り組んでいます。お客様の評価を得ながら、ホテル・研修室利用など利用者負担事業全体の成果に貢献すべき部署として、そのチーム力が期待されるところになってきました。

8月からは「サービスマス業における障がい者の就労促進事業」が本格的に始まるなど、しばらくは「ぐらん・じゅ」から目が離せません！

(竹中伸五)

CAFE&DINING『ぐらん・じゅ』  
〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1(ビッグ・アイ内)  
TEL: 072-290-0917  
FAX: 072-290-0920  
HP: <http://www.big-i.jp/>

# い湯がげん

## 夕張市は「先駆の自治体」になるかも

6月下旬、北海道の夕張市を視察してきた。全国で只一つの財政再建団体の指定を受けた自治体だ。総額353億円の借金を18年間で国に納付することを義務づけられているが、人口は最盛期の12万人から9千人にまで減少し、市民一人当たり300万円程の返済額になる。市職員は大幅に減少し、給料も4割カット、東京都職員から転出した鈴木直道市長の月給は26万円だそう。小中学校も9校から3校に縮小され、市民会館などの公共施設も民間の指定管理者に移譲された。ごみ回収も有料になり、市民税や水道使用料は負担増になった。ポク

政策の転換の犠牲になったことや、公共事業の乱発や、肥大化しすぎた人件費、赤字を隠した粉飾決算などではなかった。一般債務1100兆円と社会保障債務1500兆円で、国民一人当たり1500万円にもなる膨大な借金を抱える日本が、いよいよ半世紀ほどかけて借金返済に取り掛かるうとしたら、その間の生活はどうなるのだろうかというイメージを夕張市で描いてみたいというのが、関心事だった。

結論的には、前途はそんなに暗いものではなく、経常収支が100%を超えた(80%を超える)と黄信号)大阪市も、夕張市をモデルに借金返しに本腰を入れるべきだと思った。夕張メロンは好調で、いよいよ海外輸出も始まったし、外国からのメロン目当ての旅行者も伸びていた。埋蔵されている石炭から低炭素ガスを取り出し、エネルギーの自給自足を全国に先駆ける研究も試みられていた。人口の半数が暮らす公営住宅を幹線道路沿いに集約するコンパクトシティ構想も具体化されていた。廃校となった小学校等の公共施設は、NPOなどが維持管理費持ちで自主運営し、障害者のスポーツ振興などユニークな福祉も始まっていた。法人税などの税収はまだあまり伸びていないが、公務員も議員もスリムになった分少数精鋭になり、公共サービスを、市民参加でむしろ雇用を拡大していた。先日、再建団体転落一步手前の泉野市の千代松市長と話す機会があったが、「公務員にしかできないことだけをやる」ことで、公共サービスを市民参加してもらおうと語っておられたのは、鈴木市長と同じ目線だった。

鈴木市長とは短い会話しかできなかつたが、「もう10万都市の夢は持たない。高齢化や人口減少を前提に、内実のあるコミュニティを創る」、「いま公に頼り過ぎると、(石炭に依存し過ぎたように)後年負担を次世代に残すだけだ」等々、鮮明な将来設計を聴くことができた。借金を返すことで、地域力、市民力を鍛えることができる。そして、今度こそ持続可能なコミュニティを次世代に残すことができる。長期ビジョンにたった民営化や、ワークシェアする雇用や、賦課方式から積立方式への年金改革など、いろいろな考えさせられた夕張の旅だった。



樹ナイス代表取締役  
富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方。そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「い湯がげん」のテーマ探しに出かけます。



[田岡秀朋]W杯のお陰で早朝生活のリズムができました。早起きは三文の得。日の出が遅くなると、つついずボラになります。この生活が続くよう飲み過ぎに注意します。...



[近藤彩]毎日暑い日が続きますね。最近さぼりがちだった自炊を再開しました。夏パテしやすいので、今年は食べものから改善していくつもりです。



[四井恵介]原因不明の謎のウィルスに感染したらしく高熱が続いて一週間寝込んでいました。いろいろ支障出てますが「謎のウィルス抗体を手に入れた!」ということで前向きにとらえようと思っています。



[高橋静香]予定日より2週間早く、無事に女の子を出産しました。長男(4才)は、この妹がかわいくてたまらないらしく、果敢に抱っこする姿に「落とさんといてや」と、ひやひやです。



# 枝葉末節

## ミュージック フロム ビッグ'70 (3)



hidarimaki の佐々木です。  
今回は駄句を詠みました。  
開(とき)の音が  
公園を占拠する  
蝉時雨

それが、69年に制作された「イー  
ジーライダー」(なび68号参照)であ  
る。当時数あるアメリカンニューシ  
ネマの代表的作品と言われた。気ま  
まに旅する男たちの果てが予期せぬ  
死で、それは自由の国アメリカへの  
懐疑でもあった。

ベトナム戦争は多量の武器弾薬と  
兵士を犠牲にする。結果は若い自分  
たちの生命を蝕む。もちろんこの映  
画の中に、戦場や戦闘場面などない  
しイメージさせるものも皆無だ。しか  
し、自国の病弊を体感として伴いこ  
の映画が生まれたものと想像できた。  
海を越えた我々も、安全保障条約  
の締結や沖縄米軍基地にいらだち、  
いつ何時自分が徴兵されるかとい  
う恐れを抱いていた。つまり、米国と  
日本の政治的利害は相反するが、双  
方の若者たちにとって、戦争や国家  
という大きなものを疑う嗅覚は共通  
だった。

この映画の大きな個性は、既成の



今月の花：  
向日葵 (ひまわり)

花言葉「あこがれ」「崇拜」  
「熱愛」「偽金持ち」

この花は、太陽について回る  
「日周り」から名前がつけら  
れたそうです。



この町が少し静かになつたような気がしま  
す。人の数も少なくなつています。ある人から  
聞いた話によると、西成では現金の日雇仕事も  
あまりなく、生活保護申請に切り替えたり、働  
き盛りの人は関東へ流れているみたいです。東  
京オリンピックの関係で、仕事があるのではな  
いかと行くみたいです。でも生活するのに物価  
が高く、とっても生活できないみたいで、戻っ  
て来る人もいますようです。  
(なんばひとみ)

ロックミュージックが各シーンにち  
りばめられ、この音楽たちが「イー  
ジーライダー」のエキスを作ってい  
たといえる。THE PUSHERや  
BORN TO BE WILD(以上ス  
テッペンウルフ、もともとはバンド  
のオリジナル曲であるTHE WEI  
GHT(スミス)。デイランのオリジ  
ナル曲IT'S A LRIGHTMA  
(マッキン)など10曲ほどが、この映  
画のオリジナル曲みたいに挿入され  
ていた。自分たちの持つ日常の間  
感を満たしてくれ、映像だけでなく  
音楽にも共感させられたのが「イー  
ジーライダー」であった。それは「一  
粒で二度美味しい」グリコのアーモ  
ンドチョコみたいなものだったのだ。  
60年代半ば、デイラン(なび6・24  
号)はフォークギターからエレキギ  
ターに持ちかえ、大音量でLIEKE  
AROLLINGSTONEを演  
奏し、その変質を米国のファンたち  
が裏切りとした。私はそれをなぜ裏  
切りと見るのかわからなかったが、  
フォークとロックという音楽の垣根  
があると信じるデイラン守旧派たち  
の叛乱だったろう。デイランはそん  
な守旧派の糾弾や音楽の垣根をやす  
やすと越えた。そして米国のフォ  
ークソングが日本にも伝播してきた。  
70年代が近くなるこの頃、反戦運  
動が大きく広がる。私は「ベ平連」(ベ  
トナムに平和を！市民連合)という  
市民運動に関わった。この運動は、作  
家の小田実や開高健らが提唱した。  
旧来の左翼運動にない自由度の高い、

ちよつと応援団のような集まりに気  
安さを感じ、ベトナム反戦、沖縄返  
還などには一人デモで参加した。  
そんな頃、大阪駅や中ノ島公園で  
の集会の際、ギターをかき鳴らし  
フォークソングを歌う連中が現れた。  
彼らはフォークゲリラと呼ばれ、何  
百人もの群衆がフォークを歌い徹夜  
で議論などした。現在も音楽評論家  
として活躍する中川五郎もデモの中  
にいて、彼が作詞した「受験生ブル  
ース」や、ピート・シガールの「腰まで泥  
まみれ」などフォークを歌ってくれ  
る集會を盛り上げさせた。  
社会的、政治的なメッセージを歌  
い、支持を集めていた岡林信康(なび  
27・36号)もフォークの先頭を走り、  
これまで歌われることが無かった部  
落や労働組合、NHK、警察などを  
テーマにして、ラジカルな姿勢をかっ  
こよくみせ関西フォークも注目され  
始めていく。  
70年前後は、西欧の音楽が激流の  
ごとく私たちを襲い、同時に和製  
フォークが力を得て、自分たちの社  
会にスポットを当てようとした時代  
でもあった。それまでの西欧猿真似  
から、自己の社会的存在を確かめよ  
うと頑張りかけた時代ではなかった  
か。私は野暮だと思っていた自分た  
ちの音楽に、ゆっくり魂が入って  
くるような気持ちになつていった。  
日本のロックもまたそんな激流  
をつくりだし、頭脳警察(なび26号)  
や、フラワー・トラベリング・パン  
ド、村八分、沖縄の紫など多くのパ

# ピースのつぶやき



「ジェラシー」

お父さんとお母さんが買い物  
から帰ってきた。

私はいつものように  
お帰り！お帰り！と出迎えた。

お母さんもいつものように  
ただいま！ただいま！と  
抱きしめてくれた。

でもお母さんの匂いが  
いつもと違う。

今日のお母さんには  
違うワンちゃん匂いがした。

私はさみしくなって  
しっぽを下げた。

するとお母さんが  
私の耳元でささやいた。

「大丈夫。ワンちゃんはピー  
スだけよ・・・」って。

私はホッとして  
お母さんの胸に顔をうずめた。

そして知らないワンちゃんの  
匂いを消し去ったワンワン!!

赤井まゆみ

ピースの育ての母の赤井まゆみです。ピースがお喋りしたい事や  
思っている事を、これからもたくさん感じ取って、みなさんにお  
伝えたいと思っています。



ンドを輩出した。71年の夏、成田市  
三里塚空港反対同盟が主催する「幻  
夜祭」があるので千葉に飛んだ。私は  
日本のウッドストックをイメージし  
ていた。しかしウッドストックには  
ほど遠く、参加者は1万人いたかど  
うか。前衛的なジャズミュージシャ  
ンや、ロックバンドの演奏の合間に  
論争や盆踊りまでが加わり、音楽を  
道具にする闘争の野暮さ泥臭さを実  
感じ帰阪した。ただステージ下で野  
宿をしながら頭脳警察を初めて見た  
のが収穫だった写真は幻夜祭ライブ  
CD/DVD。  
わが国の70年は、よど号ハイジャッ  
ク事件や、万博「太陽の塔」の巨玉男、  
安保条約自動延長、コザ暴動、三島由  
紀夫の自衛隊乱入事件などなど、騒  
然とした状況を経験した。20代のJ・  
ジョプリン、J・ヘンドリクス、B・ジョ  
ンズら、それまで音楽を楽しませてく  
れた異才ミュージシャンたちが次々に  
逝き、それまでのカウンターカルチャー  
が、商業原理をたつとビジネス産業  
に変遷して失速していく。  
hidarimaki (了)



# 思ったら! にしなりカレンダー

「西成から夏を楽しもう！」編

## 地藏盆

### 夏の終わりに、小さなお祭り

地藏盆がこない夏は終わらない! 西成区には、まだまだ多くの地藏尊があります。主に、8月23、24日に、各地で行われる地藏盆。いつものお地藏さんも提灯やお菓子などでにぎやかに。最近では、復活させようという動きもあります。ぜひ、お地藏さんを探してみてください。



日時：主に、8月23日(土)あるいは、24日(日)

場所：各地のお地藏さん

主催：地域の方々

WEB：<https://facebook.com/nisinarijizoubon>

## 釜ヶ崎芸術大学 in ヨコトリ

### 西成から世界を広げて

アートNPOココルームが、ヨコハマトリエンナーレ2014に出展。釜ヶ崎芸術大学講師とおっちゃんたちによるヨコトリ出張講座。哲学や天文学、詩などの定番講座のほか、現役芸大生による狂言や喜劇の成果発表公演、TAKIDASHIカフェも開催。釜ヶ崎で培われた生き抜く術、そして釜ヶ崎の今を学べます。



日時：8月1日(金)-11月3日(月・祝)

場所：横浜美術館、新港ピア(新港ふ頭展示施設)、他

詳細：<http://www.yokohamatriennale.jp/2014/outline/index.html>

## 第2回プレーパークであそぼ

### 思いっきり遊ぼう。ケガも弁当も自分もち!

西成公園で、冒険あそび場「プレーパークであそぼ」であそぼーぜ! 子どもたちの「やってみよう」を遊びを通じてかたちにするプレーパーク。いま西成では、プレーパークづくりにチャレンジしています。その実現に向けたモデル実施の第2回目。8月24日には、あそぼパークのみずあそびまつりも同時開催!



日時：8月24日(日)11時~3時

25日(月)10時~4時

場所：西成公園(西成区津守1-13)

## tetete project

### 子どもも、大人も、つながる、くつつく

西成のおとなり、阿倍野の路地裏にある長屋の一軒を改装したギャラリースペース「あべのま」で、人と人、人と場所が「くつつく」プロジェクトがスタート。夏の間、昼は「だかし屋」、夜は「BAR」に顔をかえながら、新たな出会いの場を広げるスペースとして展開します。



日時：7月12日(土)~8月30日(土)

※不定日、詳細はwebで

場所：あべのま(阿倍野区阿倍野筋4-23-17)

企画：あべのま、松本直也デザイン、PLAYGROUND

WEB：<http://tetete.info>

## あとがき

梅雨と言いながら雨がほとんど降らずじめじめとした7月でしたが、梅雨が明けてからも相変わらず大阪の夏は暑いですね。今年の夏はいつまで暑いのかと今からドキドキしています。

そんな夏ですが、デザイン担当の高橋が無事に出産!!!プライベートでも7月出産の友人が多く、把握していただけても5名は同じ月生まれという偶然...めでたいことがかぶると嬉しくなります!

(飯田 沙保里)

なび8月号(vol.90)

発行日：2014年8月10日(創刊日：2007年1月1日)

発行：株式会社ナイス

発行人：代表取締役 富田一幸

印刷：有限会社前山企広

住所：大阪市西成区長橋3-6-33 電話：06-6563-1156

E-mail：[info@nice.ne.jp](mailto:info@nice.ne.jp)

url：<http://www.nice.ne.jp/>

編集長：佐々木敏明

編集：田岡秀朋、平川隆啓、四井恵介、飯田沙保里

イラスト：hidarimaki

デザイン：近藤彩、高橋静香

表紙の写真：「夏の日の木陰と階段」 天下茶屋東で撮影